

9) 水質（出水時調査）

視点	平成 27 年度前期(4～9 月)の調査結果概要
ダム上下流の水質比較	・SS 及び濁度(カオリン度)は、全般的に、ダム直下流(道の駅坂本)の方が上流(瀬戸石ダム下流)よりも高い傾向がみられた。しかし、時間とともに差は縮小し、ピークから 1 日を経ずにはほぼ同じ数値となった。粒度分布も地点別・時間別で大きな差異はみられなかった。

室内分析結果（調査は平成 27 年 6 月 3 日～4 日に実施）

